

# 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。  
令和6年の年頭にあたり、町民の皆さまに謹んでお祝いとお慶びを申し上げます。また、日頃より町政運営に深いご理解と温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が、5類感染症に移行されたことに伴い「会津田島祇園祭」をはじめ様々な行事が、コロナ前の規模で開催され、町民の皆さまの笑顔と賑わいが戻ってきました。

また、本町出身の阿久津こはるさんがレスリングの世界大会で優勝するなど、スポーツや文化などの多様な分野での皆さまの活躍は、全ての町民に活力と元気を与えてくれました。

一方で、混沌とする世界情勢が、私たちの生活に暗い影を落としました。イスラム組織ハマスの奇襲に対し、イスラエル軍がパレスチナ自治区ガザへの報復攻撃を行ったこと、そして、今なお続くロシアによるウクライナへの軍事侵攻であります。多くの尊い命が犠牲となり、我々の平穏な日常がいかに幸せなことか痛感させられました。

さらに、不透明な国際情勢を発端とした原油や原材料

料価格の高騰に、歴史的な円安も相まって、ありとあらゆるモノやサービスが値上がりし、コロナ禍で苦境に立たされた皆さまや事業者の方々をさらなる窮地に追い込みました。

このため、町としては、全町民を対象とした商品券の交付事業や、原油価格および光熱費高騰の影響を受けた中小企業や農業者等を中心に、支援策を講じてまいりました。引き続き、皆さまに寄り添った町政運営に努めてまいります。

さて、昨年4月より第3次南会津町総合振興計画がスタートしました。本計画は、本町のまちづくりの指針として、町民と行政が共に目指す将来像を描き、その実現に向けた目標の柱や施策を定めた8年間の計画です。

8年後の目指すべき姿として将来像を「自然と人が笑顔を育むまち」ともに生きるみんなのふるさと」と掲げ、それを実現するための5つの目標の柱を基本構想として定めました。そして、基本構想の下に、基本計画として19の施策を位置付けました。

計画を着実に実行していくことで、南会津町に関わりのある方々が、自信と誇りをもって活躍し、一人ひとりが幸せを実感できるようなまちづくりを進め、将来像の実現に向けた施策を講じてまいります。

特に、想定より早く進んでいる人口減少対策として、結婚支援や子育て世帯への支援、関係人口・交流人口の創出を柱に据えて取り組んでまいり所存です。

本年におきましては、子育て世帯を応援するため、国の無償化の対象とならない3歳未満児の保育所等の入園・入所にかかる保育料の助成を行うことで、子育て

南会津町長

渡部 正義



て世帯の負担軽減や両親が安心して子どもを産み育てる環境づくりを進めてまいります。

また、結婚支援においては、従来取り組んできた施策に加え、今年度より町独自の婚活イベントを開催しております。今後も多角的な結婚支援を続けることで、結婚を望む方々の後押しができるよう努めてまいります。

関係人口・交流人口の創出においては、引き続き、スポーツ合宿や企業研修の誘致を推進するほか、新たに星空誘客事業を魅力再認識から宿泊型の観光誘客に変革させる取り組みに加え、山村留学の長期留学制度の移行に向けた協議および調整を進めてまいります。

このほかにも、公共施設の効率的な運営として、旧伊南小学校跡地を活用した古町の大イチョウをシンボルとする公園を整備するほか、デマンドタクシーの運行拡大、ドローン開発拠点としての企業誘致など、山積する課題解決に向け着実な事業進展を目指してまいります。

そして、本年を次世代に繋げる町勢発展の新たな幕開けの年として、町民の皆さまが誇れるような一年にすべく、町政運営にまい進してまいります。

町政進展のためには、町民の皆さまが、町の一員としてまちづくりにかかわっていただくことが重要と考えておりますので、今後とも変わらぬお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、本年が平穏で喜びに満ち、笑顔が輝く年となりますよう、また、皆さまにとりまして、健康で幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

今年も一年、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

七ヶ岳からの朝日